# 【組入投信の運用レポート】

## ピムコ グローバル債券ファンド

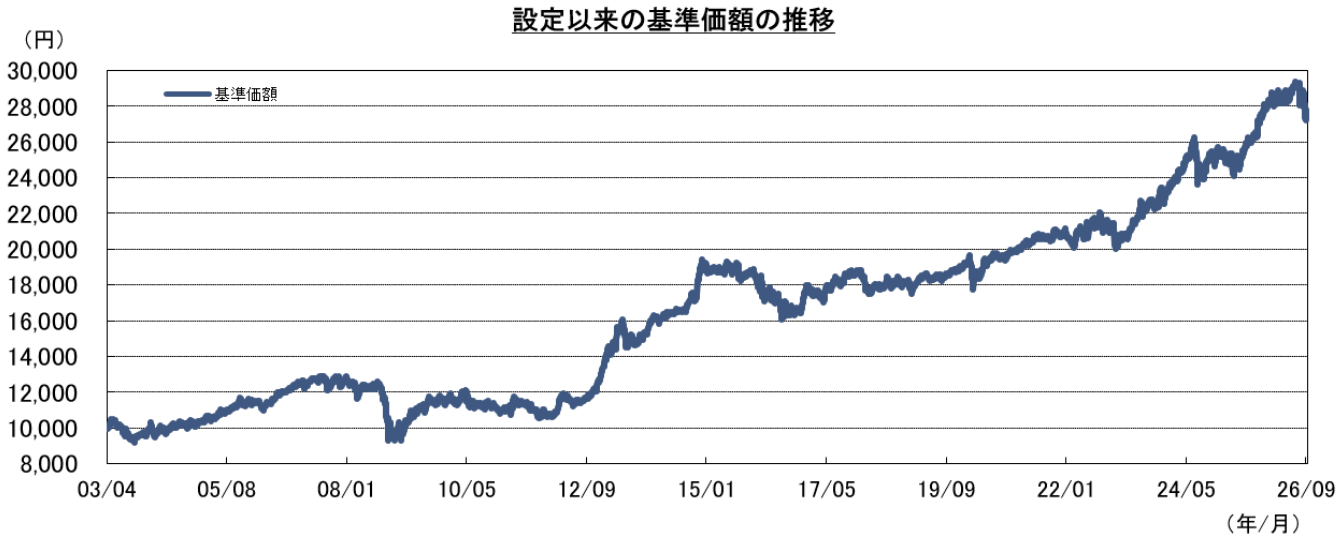
本資料は、変額年金保険の特別勘定に組入れられている投資信託についての運用状況を開示するための参考資料であり、募集を目的とするものではありません。また、将来の運用成果を保証するものではありません。
ご契約者が投資信託を直接保有しているものではありません（投資信託を直接購入することはできません）。
特別勘定に組入れられている投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。
本資料は、ピムコジャパンリミテッドによる運用報告を、第一生命保険株式会社より提供するものです。
このレポートの最終ページには、諸費用やご契約者の負うリスクなどぜひご確認いただきたい内容について記載しています。必ず最終ページをご覧いただき、内容について十分ご確認ください。

**2026年9月30日現在**

**[追加型証券投資信託／ファンドオブファンズ]**
**[基準価額]** 27,395円
**[決算日]** 毎年4月25日

**[設定日]** 2003年4月30日
**[純資産総額]** 56.5億円
**[ヘッジ比率]** 原則として為替ヘッジは行いません

### 1. パフォーマンス




**基準価額の騰落率**

| | 1ヶ月 | 3ヶ月 | 6ヶ月 | 1年 | 2年 | 設定来 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ファンド* | -4.85% | -6.46% | -2.83% | 3.33% | 6.03% | 4.39% |
| ベンチマーク** | -4.21% | -5.57% | -2.55% | 4.46% | 5.97% | 4.32% |
| 差 | -0.64% | -0.89% | -0.28% | -1.12% | 0.06% | 0.07% |

*信託報酬控除後、1年を超える期間は年率換算してあります
**ブルームバーグ・グローバル総合（日本円除く）インデックス（円ベース、為替ヘッジなし）

**分配実績**

（単位：円）

| | 第9期 | 第10期 | 第11期 | 第12期 | 第13期 | 第14期 | 第15期 | 第16期 | 第17期 | 第18期 | 第19期 | 第20期 | 第21期 | 第22期 | 第23期 | 累計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 日付 | 12/4/25 | 13/4/25 | 14/4/25 | 15/4/27 | 16/4/25 | 17/4/25 | 18/4/25 | 19/4/25 | 20/4/27 | 21/4/26 | 22/4/26 | 23/4/25 | 24/4/25 | 25/4/25 | 26/4/27 | - |
| 金額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

※本資料はピムコジャパンリミテッド（以下、「当社」と言います）が当ファンドの運用状況の開示を目的として作成した資料であり、「金融商品取引法」「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく法定開示資料または運用報告書ではありません。
※本資料に記載した運用状況、コメント等は、過去の一時点あるいは過去の一定期間におけるものであり、将来の運用成果を保証または示唆するものではありません。
※本資料に記載されているデータ等の正確性につきましては当社は細心の注意を払っておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
※当ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式で運用している為、実質的な組み入れ状況を記載しております。また、各資産の組入れ比率も実質組入れ比率で表示しています。

PIMCO

## 【組入投信の運用レポート】

## ピムコ グローバル債券ファンド

本資料は、変額年金保険の特別勘定に組入れられている投資信託についての運用状況を開示するための参考資料であり、募集を目的とするものではありません。また、将来の運用成果を保証するものではありません。
ご契約者が投資信託を直接保有しているものではありません（投資信託を直接購入することはできません）。
特別勘定に組入れられている投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。
本資料は、ピムコジャパンリミテッドによる運用報告を、第一生命保険株式会社より提供するものです。
このレポートの最終ページには、諸費用やご契約者の負うリスクなどぜひご確認いただきたい内容について記載しています。必ず最終ページをご覧いただき、内容について十分ご確認ください。

### 2. ファンド特性

**ファンドの一般的特性**

| | |
|---|---|
| 平均クーポン | 3.99% |
| 平均最終利回り | 5.63% |
| 平均デュレーション（年） | 6.15 |
| 平均償還期間（年） | 11.36 |
| 平均格付け* | AA- |
| 債券組入比率 | 89.71% |

*平均格付けとは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該投資信託受益証券に係る信用格付ではありません。

**種類別配分**

| | 組入比率 |
|---|---|
| 国債、エージェンシー債 | 32.28% |
| モーゲージ、アセットバック債 | 27.02% |
| 社債 | 16.23% |
| エマージング債 | 14.18% |
| キャッシュ等* | 10.29% |
| 合計 | 100.00% |

*「キャッシュ等」にはCPなども含まれます。

**通貨別配分**

| 通貨名 | 組入比率 |
|---|---|
| 米ドル | 48.88% |
| ユーロ | 23.36% |
| 中国元 | 11.83% |
| 英ポンド | 4.79% |
| メキシコペソ | 2.41% |
| カナダドル | 2.04% |
| オーストラリアドル | 1.72% |
| その他 | 4.97% |
| 合計 | 100.00% |

**格付別構成比**

| | 組入比率 |
|---|---|
| AAA | 8.89% |
| AA | 54.05% |
| A | 14.86% |
| BBB | 19.67% |
| BBB未満 | 0.17% |
| A1/P1 | 2.36% |
| A2/P2 | 0.00% |
| 合計 | 100.00% |

**現物債券組入上位5銘柄**

| | 銘柄名 | クーポン | 償還日 | 組入比率 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | FNMA TBA 5.0% NOV 30YR | 5.00% | 2056/11/12 | 15.41% |
| 2 | FNMA TBA 4.0% NOV 30YR | 4.00% | 2056/11/12 | 3.15% |
| 3 | TITULOS DE TESORERIA | 12.50% | 2030/2/27 | 2.00% |
| 4 | GNMA Ⅱ TBA 3.0% OCT 30YR JMBO | 3.00% | 2056/10/20 | 1.93% |
| 5 | CHINA DEVELOPMENT BANK | 2.63% | 2034/1/8 | 1.93% |

### 3. 運用担当者のコメント*

**≪市場コメント≫**

米国債券相場では、月前半、トランプ大統領がイランとの戦争長期化を示唆したことによる原油価格の上昇に加え、米コアCPIが前月比で市場予想を上回ったことで、利回りは上昇し相場は下落しました。月後半には、米総合PMIが市場予想を上回り約5年ぶりの高水準となったことや、FRB高官のタカ派的な発言を背景に追加利上げ観測が強まり、相場は続落となりました。（2年債利回りは前月比0.55%上昇、10年債利回りは前月比0.53%上昇しました。）

欧州債券市場では、月前半、中東情勢悪化によるエネルギー価格の上昇に加え、ECBのインフレ見通し引き上げが嫌気され相場は下落しました。月後半は、エネルギー価格の反落を背景に相場は一時反発したものの、ユーロ圏PMIが予想を上回るなど景気の底堅さが意識され再び下落しました。（2年債利回りは前月比0.27%上昇、10年債利回りは前月比0.26%上昇しました。）

英国債券市場では、月前半、中東情勢悪化によるエネルギー価格の上昇を背景に相場は下落しました。月後半は、エネルギー価格の反落に加え、BOEが保有する超長期国債の売却停止を発表したことで相場は一時反発したものの、世界的な金利上昇やBOE高官のタカ派的な発言が重しとなり再び下落しました。（2年債利回りは前月比0.48%上昇、10年債利回りは前月比0.36%上昇しました。）

日本債券市場は、月初はGPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）による資産配分見直し観測などを背景に上昇しました。しかし、その後は中東情勢の緊迫化による原油高や日銀の利上げ決定に加え、欧米金利の上昇を受けて下落しました。（2年債利回りは前月比0.22%上昇、10年債利回りは前月比0.11%上昇しました。）

**≪パフォーマンス≫**

先月のパフォーマンスはマイナス4.85%となりベンチマークを0.64%下回りました。日本の中長期ゾーンの金利リスクへの消極姿勢がプラス要因となったものの、欧州の中長期ゾーンの金利リスクへの積極姿勢や米国政府系モーゲージ債への投資などがマイナス要因となり、ベンチマークを下回りました。

**≪今月の運用方針≫**

2026年の世界経済は、関税やエネルギー高の中でも、AI投資の継続や資産効果等を背景に底堅さが維持される一方、中東情勢に起因するエネルギー供給ショックにより、成長の下振れリスクとインフレ上振れリスクが同時に意識される見通しです。金融政策は、主要な中央銀行がインフレ期待の安定に向けて引き締めを行う見通しですが、2022年のような利上げサイクルになるとは見ておりません。ただし、エネルギー価格が一段と上昇した場合には、追加の引き締めを迫られる可能性があります。米国については、AI関連投資等の裾野の広がりが下支えとなり底堅い成長が見込まれる一方で、中東情勢に伴うエネルギー供給ショックが一段と深刻化した場合には、成長の下振れリスクが高まるとみています。インフレについては、エネルギーコストの価格転嫁が続く中で年内は高止まりするリスクが意識されるものの、関税や半導体メモリ価格、エネルギー価格上昇の影響が剥落していき、2027年にかけてインフレ圧力は低下する見通しです。金融政策は、インフレ期待の安定を重視するFRBの政策運営を背景に、1～2回の追加利上げを予想していますが、長期的な利上げサイクルではなく政策スタンスの再調整にとどまるとみています。ユーロ圏では、AIや防衛、エネルギー安全保障などの財政出動が進む一方、財政余力が限られる国も多く、中東情勢を背景としたエネルギー供給ショックが長期化した場合、成長の鈍化や市場の不安定化につながる可能性があります。インフレ率については、エネルギー価格を主因に足元で上昇しているものの賃金等への二次的波及は限定的であり、2027年末にかけて目標水準に収斂していくと見込んでいます。そのため市場はECBの利上げを過度に織り込んでいるとみています。ファンドの運用に際しては、長短金利差の拡大を見込み欧州の超長期ゾーンの金利リスクのアンダーウェイトを継続したほか、米国の中期ゾーンの金利リスクを削減したことなどから、全体の金利リスクは前月比で縮小しました。セクター戦略については、政府保証等により高い健全性を維持している政府系モーゲージ債や、リスクを考慮しても魅力的な利回りを提供すると考えられる証券化商品などに選択的に投資します。

＊ 将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

※本資料はピムコジャパンリミテッド（以下、「当社」と言います）が当ファンドの運用状況の開示を目的として作成した資料であり、「金融商品取引法」「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく法定開示資料または運用報告書ではありません。
※本資料に記載した運用状況、コメント等は、過去の一時点あるいは過去の一定期間におけるものであり、将来の運用成果を保証または示唆するものではありません。
※本資料に記載されているデータ等の正確性につきましては当社は細心の注意を払っておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
※当ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式で運用している為、実質的な組み入れ状況を記載しております。また、各資産の組入れ比率も実質組入れ比率で表示しています。

PIMCO

# 特にご確認いただきたい重要事項【引出機能付災害４割加算型変額年金保険】

## ■運用リスクについて

・この商品は、年金額、積立金額、解約返還金額、給付金額等が特別勘定資産の運用実績に基づいて増減する仕組みの、保険料一時払方式の変額年金保険（生命保険）です。引受保険会社は、第一生命保険株式会社です。
・ファンド（特別勘定）での資産運用においては主に投資信託に投資しますので、その運用においては運用リスクを負うことになります。この商品では、資産運用の成果が直接、積立金額、解約返還金額、死亡給付金額等に反映されることから、資産運用の成果とリスクがともにご契約者に帰属することとなります。なお、積立金額、解約返還金額、年金原資、年金額に最低保証はありません。
・積立金額は、ファンド（特別勘定）で運用・管理されます。ファンド（特別勘定）は、実質的に国内外の株式・債券等を投資対象とするため、「株価の下落」「金利の上昇による債券価格の下落」「円高による外貨建資産価格の下落」等が基準価額の下落要因となります。
・基準価額の下落は直接、積立金額、解約返還金額、年金原資などに反映されるため、積立金額、解約返還金額、年金原資が一時払保険料相当額を大きく下回ることがあり損失が生じるおそれがあります。

## ■ご負担いただく諸費用について

お客さまには以下の諸費用の合計額をご負担いただきます。

### (1) 運用期間中

①すべてのご契約者にご負担いただく費用

| 項目 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|
| **保険契約関係費**<br>死亡給付金のお支払いや、ご契約の締結・維持に必要な費用です。 | **ファンド（特別勘定）の資産総額に対して年率 1.551%** | ファンド（特別勘定）の資産総額に対して年率 1.551%/365 日を毎日控除します。 |
| **運用に関わる費用**<br>各ファンド（特別勘定）の運用に関わる費用として、投資対象となる投資信託にかかる信託報酬などです。 | **信託報酬は、（年率）1.76275%が上限です。（別表をご覧ください。）**<br>※運用手段の変更、運用資産額の変動等の理由により将来変更される可能性があります。 | 投資対象となる各投資信託の信託報酬は、信託財産の額に対して所定の率（年率）/365 日を毎日控除します。 |

※上記の信託報酬の他、以下の諸費用を間接的にご負担いただくことがあります。なお、売買委託先、売買金額等によって手数料率が変動する等の理由から、これらの計算方法は表示しておりません。
・有価証券の売買時の売買委託手数料および有価証券取引に係る手数料・税金、先物・オプション取引に要する費用、信託財産留保額、当該手数料にかかる消費税等相当額および外貨建資産の保管等に要する費用（マザーファンドで運用する場合も同様）等

（別表）各特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の信託報酬等

| 特別勘定の名称 | 主たる投資対象とする投資信託の信託報酬等※ | 特別勘定の名称 | 主たる投資対象とする投資信託の信託報酬等※ |
|---|---|---|---|
| 日本株グロースファンド | 年率 0.957%（税抜 0.87%）を上限 | 米ドル短期ファンド | 管理報酬等　年率 0.91%（上限） |
| 日本株バリューファンド | 年率 1.65%（税抜 1.50%） | 日本リートファンド | 年率 0.704%（税抜 0.64%） |
| 日本小型株ファンド | 年率 1.463%（税抜 1.33%） | マネーファンド | 元本総額に対し年率 1.0%以内 |
| 日本株インデックスファンド | 年率 0.3685%（税抜 0.335%） | Dバランスファンド | 年率 0．29975%～1．76275%（税抜 0．2725%～1．6025%）<br>うちアセットマネジメント One 株式会社分の費用は 0.29975%程度（税抜 0.2725%程度）です。 |
| グローバルグロースファンド | 年率 1.43%（税抜 1.30%） | | |
| グローバル債券ファンド | 年率 0.77%（税抜 0.70%） | | |

※上記信託報酬は、2026 年 4 月現在の数値であり、運用会社により今後変更され引き上げられることがあります。なお、（ ）内は消費税抜きの額を表示しています。

②特定のご契約者にご負担いただく費用

| 項目 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|
| **保険契約維持費**<br>基本保険金額が 200 万円未満の場合にかかる費用です。 | **毎月 400 円** | 月単位の契約応当日（契約日を含みます）始に積立金から控除します。 |
| **解約控除**<br>契約日（増額日）から経過 10 年未満で解約・減額された場合にかかる費用です。 | **契約日からの経過年数に応じ、基本保険金額に対して 6.0%～0.6%の解約控除率を乗じた金額** | 解約・減額時にお支払いする積立金から控除します。 |

### (2) 年金受取期間中

| 項目 | 年金の種類 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|
| **保険契約関係費** | 確定年金<br>保証期間付有期年金 | **支払年金額に対して年率 1.0%** | 第2回以後の年金の年金支払日に責任準備金から控除します。 |
| | 保証期間付終身年金 | **保証期間中：支払年金額に対して年率 1.0%**<br>**保証期間経過後：支払年金額に対して年率 2.0%** | |

※上記の率等は年金支払開始日の時期により異なることがあります。

## ■その他ご留意いただきたい事項について

・この商品では、年金原資、年金額に最低保証はありませんので、お受取りになる年金の合計額が一時払保険料相当額を下回ることがあります。そのため損失が生じるおそれがあります。
・この商品では、ご契約日（増額日）から 10 年未満に解約・減額をされますと解約控除がかかります。また、解約返還金額には最低保証はありませんので、一時払保険料相当額を下回ることがあります。そのため損失が生じるおそれがあります。